

本日早朝の熊野寮他への

# 機動隊攻入糾弾書 吉田寮

全学の学友諸君に 教職員のみなさんは またしても寮闘争に対する、大学当局一國家権力一体となった弾圧が加えられた。一昨日10・27 全学集会への弾圧、機動隊による暴行と寮友一名不当逮捕に續いて、本日早朝、熊野寮はじめ学内数ヶ所に國家権力一機動隊が乱入し不当捜索が行なわれた。熊野寮では、抗議する寮友に対して機動隊員が暴行を行ない、負傷者も出た。我々は、打ち続く弾圧を満腔の怒りをもって弾劾する。以下、本朝の報告を行なうとともに、この弾圧が寮闘争殺を目的としたものであることを明らかにしたい。

## 《当局一権力一体の政治弾圧》

本日早朝7時、熊野寮他数ヶ所に、10月27日の件で強制捜査するという名目で、大量の公安刑事、機動隊員が乱入した。我々吉田寮を知らせを聞き抗議のため熊野寮へかけつけた。熊野寮には、カヌボコ4台、百数十名の機動隊が動員され、1時間に渡って寮内に侵入、廊下等を不當に封鎖し続けた。そして帰りぎれには抗議する寮生に暴行が加えられ、ケガ人やめがねを割られる者も出た。

今日の捜索は明らかに、当局の廃対化攻撃と一体となつた、政治的弾圧である。27日の寮友の逮捕自体、寮闘争を中心になつてきた寮友への粗い打ち的強手であり、全くのデッキ上げ（権力は公安条例違反一無許可デモ）といふ理由にもなりない理由をつけてきたが、寮友はデ

モ隊列にも入らず、歩道を歩いていただけだ。そもそも本部一教養部間のデモがなぜ「難民」され逮捕されるものであるのか。）であるが、現行犯で逮捕しながらどこに仰ぐの居室まで強制捜査する必要性があるのか。大騒ぎをしたあげく、権力が押収していったものは、すでに全學に配布しているビラ数枚だけだった。「捜査の名目で、寮生への恫喝と嫌がらせのために、國家権力は乱入したのである。

## 《弾圧をはねのけ闘うぞ》

すでに明らかのように、権力者は理屈で負けになるとその本質である暴力をむき出しにし、力で叩きかせようとする。廃対化を何としてもなし切ろうとする当局は、我々が反対の、をあげると、必ず國家権力の力を使って弾圧してくれる。昨年の我々の話し合い要求の情宣を強制撤去し、デモ隊に機動隊を使ってマリンチを加え、更には運動をつぶすために中心メンバーを狙ってデッキ上げ逮捕まで行なつてくる。

我々は今、本当に怒りに燃えている。当局一権力がそこまで卑劣な挙を重ねるならば、我々は逆に怒りをバネに自治対死守の闘いを爆発させる。完黙非転向で闘つている獄中同志に連絡し脚を抜く。全学の学友諸君に、自治対死守か、廃対化監獄化を許すのかが、今、全学の諸君に問われている。我々とともに、自治対死守を脚を抜こう。共に闘わん。

82.10.29

筆